

あんえいがんねん(1772)～あんせい 6ねん(1959)。いわむらはん いま えな しいわむらちやうしやう
安永元年(1772)～安政6年(1959)。岩村藩(今の恵那市岩村町)出身の江戸時代を代表する儒学者。「少にして学べば」「社にして学べば」「
老いて学べば」と、一生、学び続けることの大切さを説きました。

岐阜県
恵那市

いっさい先生



少しやうにして学まなべば、
 則すなわち社そにして
 為なす有あり。
 社そにして学まなべば、
 則すなわち老おいて衰おとろえず。
 老おいて学まなべば、
 則すなわち死しして朽くちず。

(言志晩録60条)